

平成 23 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 日本マニファクチャリングサービス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 小野 文明
 コード番号 2 1 6 2
 問 合 せ 先 取締役執行役員コーポレート本部長 末廣 紀彦
 電 話 番 号 03 (5333) 1711 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、平成24年3月期第2四半期にかかる決算処理の状況を踏まえ、平成23年9月27日に「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました平成24年3月期第2四半期累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。尚、通期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の連結業績予想につきましては、前回予想を据え置かせていただきます。

記

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	11,500	150	120	900	9,041円59銭
今回修正予想（B）	11,000	150	100	1,300	13,059円68銭
増減額（B－A）	△500	0	△20	400	—
増減率（%）	△4.3%	—	△16.7%	44.4%	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成23年3月期第2四半期）	8,983	276	265	764	38,428円46銭

<業績修正の概要>

上記の第2四半期累計期間における今回の連結業績予想数値は、日本マニファクチャリングサービス株式会社（以後nms）及び株式会社志摩電子工業（及び株式会社志摩電子工業の子会社3社との連結、以後志摩グループという）の期間業績と株式会社テーキアール（及び株式会社テーキアールの子会社8社、以後TKRグループという）の平成23年6月末貸借対照表に基づき算定しております。即ち、TKRグループは、第3四半期会計期間より期間損益を連結財務諸表に取り込むこととなっていることから、経営統合における「負ののれん」（特別利益）についてのみ、第2四半期累計期間の財務諸表に反映させております。尚、「負ののれん」は、TKR株式取得価額とTKRグループの持分時価純資産額との差異を表すものであります。

当該期間でのnms、志摩グループの業績は、前期末において発生した東日本大震災の直接的、間接



的影響を受け、加えてクライアントである日系メーカー各社を取り巻く経済環境が円高等、極めて厳しい状況にあったことから、期初においては保守的な業績予想を行いました。その後、グループを挙げての営業活動が奏功し、6月より大幅に業績回復したことを受け、8月1日業績上方修正を実施し、さらに9月27日にはTKRグループとの経営統合に伴う業績上方修正を行い、今回、本年度において3回目となる業績上方修正を行うこととなりました。

尚、通期の見通しにつきましてはタイで生じた大規模洪水の日系メーカーへの影響を見極めた上で、修正の必要が生じた場合には速やかに発表を行うことといたします。現時点では、マイナスの影響もありますが、一方でタイ工場からの代替生産地として当社グループの重点展開する日本の東北地方、マレーシア等が候補に挙げられることが多く、プラス効果も一定規模で見込めるものと予想しております。

<業績予想に関する注意事項>

この資料に記載されております業績予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、この資料に記載されている予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

以 上